



「女性の視点」で震災を伝える ～アーカイブの意義とその取り組み～



東日本大震災から6年、真の復興が果たされるまでには、まだ時間が必要です。

一方で、震災の風化が危惧され、より一層アーカイブの重要性が強調されています。防災・復興に女性の視点が不可欠であることが指摘されている今、それらの資料・記録に注目し、改めて被災地から震災を振り返り、真の復興のあり方を発信していきたいと思えます。

そこで、女性の視点にかかわる震災アーカイブの重要性、取り組み等についてみなさんと一緒に考えます。 *アーカイブとは・・・重要記録を保存・活用し、未来に伝達すること

日 時 2017年6月18日(日) 13:30~16:00

会 場 エル・パーク仙台 創作アトリエ

(仙台三越定禅寺通り館5階)

講 師 青木 玲子さん

(独立行政法人国立女性教育会館 情報課 客員研究員)

- 参加費 無料
- 定員 20名(先着順)
- 参加申込 特定非営利活動法人イコールネット仙台
TEL: 090-1398-5065
FAX: 022-271-8226 (裏面の参加申込書をご使用ください)
e-mail: emuna@ve.cat-v.ne.jp
- 申込締切 6月12日(月)



主 催 特定非営利活動法人イコールネット仙台

「女性の視点で震災を伝える」プロジェクト